

日本精神障害者リハビリテーション学会 第28回愛知大会研修セミナー特別企画

パトリシア・ディーガン 講演

リハビリは過程であり、生き方であり、構えであり、日々の挑戦の仕方です。平坦な一本調子の直線的なみちではありません。・・・願いは、地域の中で暮らし、働き、愛し、そこで自分が重要な貢献をすることなのです。

(Deegan.P.E 1988)



パトリシア・ディーガンさんは障害者権利運動の活動家です。10代で統合失調症と診断されその後、自らのリハビリの旅を続けてきました。

また世界中にリハビリの希望のメッセージを伝えてきました。

そして、いよいよ日本で…！

- ※ 本研修は字幕付きのオンデマンド配信で行います。
- ※ **第28回愛知大会にご参加される方は受講料無料です。**
- ※ 第28回愛知大会に参加されない方は有料となります。
- ※ いずれも第28回愛知大会HPよりお申し込みください。
<https://www.japr28.com/partaker/>
- ※ 詳細につきましては今後随時更新いたします。



講師紹介

パトリシア・E・ディーガン博士はパット・ディーガン&アソシエイツの創始者です。30年以上にわたり、行動健康リカバリー分野における思想的リーダーであり、これまでの価値観を打ち砕くような革新者です。

パトリシア・ディーガンさんは、リカバリーのみちを歩んでいる人による、リカバリーのみちを歩んでいる人のための会社を設立しました。会社の使命は 個人の声と選択の権利を臨床ケアチームの中心に据えることで、人間の尊厳を守ることです。この目的のためにパトリシア・ディーガンさんは「パット・ディーガンのリカバリーアプローチ」を開発しました。このアプローチには、受賞歴のあるコモングラウンドソフトウェア、オンラインのリカバリーライブラリー、ピアと支援者のためのコモングラウンドアカデミー、および人を悩ませる声を聞くシミュレーションが含まれます。

2009年からはコンサルタントとして、初期の精神病を経験した若年層を対象とした組織的な専門ケアチームのための「OnTrackNY」モデルの開発と発展に貢献しています。

パトリシア・ディーガンさんは障害者権利運動の活動家であり、10代で統合失調症と診断された後、自らのリカバリーの旅を続けてきました。また、多くの大学など学術的な役職に就き、多くの著書もあります。そして世界中の聴衆にリカバリーへの希望のメッセージを伝えてきました。デュケイン大学で臨床心理学の博士号を取得しています。

BRIEF BIOGRAPHICAL STATEMENT

PATRICIA E. DEEGAN PHD

Patricia E. Deegan Ph.D. is a principal with Pat Deegan & Associates. For over 30years Pat has been a thought leader and disruptive innovator in the field behavioral health recovery. Pat founded a company run by and for people in recovery. The mission: To safeguard human dignity by bringing individual voice and choice to the center of the clinical care team. Toward this end she developed Pat Deegan's Recovery Approach that includes the award winning CommonGround software, the online Recovery Library, the CommonGround Academy for peers and practitioners, and the Hearing Distressing Voices Simulation. Since 2009 Pat has worked as a consultant helping to develop and evolve the OnTrackNY model for coordinated specialty care teams for young folksexperiencing early psychosis. Pat is an activist in the disability rights movement and has lived her own journey of recovery after being diagnosed with schizophrenia as a teenager. She has held a number of academic appointments, has numerous publications, and has carried a message of hope for recovery to audiences around the world. She received her doctorate in clinical psychology from Duquesne University.

<http://patdeegan.com>